



SANO NIHON UNIVERSITY  
SECONDARY SCHOOL



We prepare for  
**Cambridge**  
English Qualifications

[ 広報 ]

# わかざくら

W A K A Z A K U R A

vol.63

2023.5.31



目大DAY



総合的探究



青空の下、きらり  
遠足(6年)



新しい友達と 1年1組



入学式



対面式



みんなにっこり 1年2組

## 目次

入学式	P 2・3
遠足・PTA総会	P 4
各賞受賞者	P 5
大学合格実績・輝く仲間たち	P 6

佐野日本大学中等教育学校

栃木県佐野市石塚町2555 ☎ 0283-25-0111(代)

<https://ss.sano-nichidai.jp/>

# 入学式にあたって



## 志と目標を持って

校長 船渡川 重幸

桜の季節が過ぎ、新緑が陽の光に映え、春本番を感じる今日の佳き日に、多くの保護者の皆さまのご出席をいただき、第14回入学式を挙行できますことは、私たち教職員、在校生にとりまして、大きな喜びでございます。

ただ今入学を許可された67名の新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんを心から歓迎いたします。今、新入生の皆さんが真新しい本校の制服に身を包んで緊張している様子を見てみると、これから始まる中等教育学校での生活への期待や意欲が伝わってきます。皆さんは、自らの意志で受験を突破して、本校への入学を決めました。まずこのことを、もう一度、心の中に思い起こしてみてください。本校の親大学である日本大学の教育理念を、端的に表した言葉は「自主創造」です。これは、課題に向き合い、どうすれば解決できるのかを自ら考え、その解決に向けて行動することの重要性を表した言葉です。たくさんある私立・公立の中高一貫校の中から、自分で考え、自分で進むべき道を決め、自分で勉強し、受験し、そして今この場にいる皆さんは、すでに「自主創造」の実践者だと私は思います。本校での6年間は、皆さんが大人へと成長するため、これからの人生の土台を培う大切な意味を持った時間になります。これからの学校生活の一つ一つが心に深く刻み込まれながら、皆さんは心身ともに飛躍的に成長していくことでしょう。私たち教職員も、皆さんと共に歩んでいきます。どうぞよろしく願いいたします。そこで、中等教育学校での新たなスタートに当たり、皆さんに努力してほしいこと3つをお話しします。

一つ目は、「自分を大切にすると共に、自分の周りにいる友達も大切に作る生徒になる」ということです。皆さんは、自分自身の良いところを知っていますか。人には必ず良いところがあります。自分の良さはここだと思ったら、それを生かし、さらに自分を高める努力を続けることで自分を大きく成長させ、魅力ある人になっていけるのです。人には誰でもそれぞれ長所と短所があります。そして世の中には自分と同じ人は一人もいません。すべて違う人ばかりです。だからこそ、お互いにそれを認め合い、かばい合い、協力していくことが必要になります。「友達と協力して生きていく力」、「自分のクラスをよりよいものにしていく力」を大いに育ててください。今、私たちを取り巻く世界は、残念ながらユートピアではありません。21世紀になってもまだ戦争が起こっています。環境問題も待ったなしの状況

だとわかっていながら、決定的な打開策はありません。そしてこれらすべては、この世界に生きる地球人として「私には関係がない」とは決して言えないのです。ですから、皆さんには少なくとも自分に関することは、自分で考え、自分で決定し、自分の足で進んでいってほしい。そして、自分に関することから仲間へ、そして社会へとその視野を徐々に広げていってほしいと思います。自分だけの幸せから、自分を取り巻くあらゆる命の幸せに広げていってほしいと思います。

二つ目は、「志と目標を持って何事にも挑戦する生徒になる」ということです。夢や希望は誰でも持つことができます。しかしそれを達成するためには「志と目標」がなければなりません。そして夢や希望を達成するためには、大抵の人は失敗や挫折を経験します。失敗することが常であると言ってもいいでしょう。世の中で輝かしい成功を収めた人たちの裏には数多くの失敗があるものです。ですから、皆さんは失敗など恐れることなく、いろいろなことに積極的にチャレンジしてください。志と目標がある生徒は一日一日の生活が活き活きとしてきます。

三つ目は、「世界に羽ばたく人になってほしい」ということです。記憶に新しいWBCでの侍ジャパンチームの活躍や昨年秋のワールドカップサッカーでの日本の活躍は私たちを大いに元気づけてくれました。皆さんも多分ご覧になったことでしょう。皆さんは、日本チームの活躍を見て何か感じたことはありませんか。それは、野球で中心となって活躍した大谷選手やダルビッシュ選手らは野球の本場アメリカで活躍し、サッカーの日本代表選手の半分以上が、やはりサッカーの本場であるヨーロッパで活躍しているということです。つまり、野球もサッカーも日本から飛び出して、外の世界で自分を鍛え、結果を出しているということです。本校では、グローバル教育を積極的に推進しています。その前提として英語教育と体験教育を特に重視しています。海外にはいくつもの姉妹校、提携校を持っていて、6か年を通して様々な海外フィールドワークプログラムを設定しています。それは将来皆さんが、多様な人々と対等にコミュニケーションをとったり、仕事をしたり、競い合ったり、学び合ったりするための土台を作るためなのです。新入生の皆さん、海外に羽ばたいていくのは何もスポーツに限ったことではありません。是非グローバル社会を見据えた積極的な取り組みをしてほしいと思います。もう一度繰り返します。「自分を大切にするとともに、自分の周りにいる友達も大切に作る生徒になる」こと、「志と目標を持って何事にも挑戦する生徒になる」こと、そして「世界に羽ばたく人になってほしい」。この3つをしっかりと心に留めておいてください。

新入生の皆さんがこれからの6年間、この学校で学業に、様々な活動に全力でぶつかって、充実した楽しい生活を送ることを期待して式辞といたします。(一部省略)

# 晴れやかに 入学式行われる



4月5日（水）、桜の花も美しい、新入生を祝うかのような晴れやかな青空のもと、入学式が挙行された。3年ぶりに在校生が参列し、保護者、教職員、先輩たちが見守る中、厳かに式は行われた。

開式に先立ち、合唱部と新3年生の合唱「ぜんぶ」の歌声が会場に響いた。校旗入場、開式の辞、国歌斉唱と続いた。新入生一人ひとりの呼名に対し、しっかりと返事で答えた67名の新入生たちは、校長による入学許可と、それに続く式辞に耳を傾けた。（2面）

日本大学からは酒井健夫学長のご名代として副学長の大貫進一郎先生が祝辞を代読された。さらに来賓を代表して、横井帝之PTA会長よりご祝辞をいただいた。

新入生の入学を祝う祝電披露のあと、新入生代表の水野陽花さん（小山・小山第一小）が誓いの言葉を述べた。水野さんは、科学技術の発達によりAIやロボットの活用で便利になる反面、劇的な社会の変化に適応していけるかへの不安を述べ、幕末の偉人の生き方から日本大学の校訓「自主創造」の精神のもと、激動の時代に打ち勝ちたいという決意を語った。



次に、生徒会長の林咲結理さん（5年・下野・祇園小）から歓迎の言葉が述べられた。林さんは、ウォルト・ディズニーの「夢を叶える秘訣」の4つの「C」—「Curiosity 好奇心」「Confidence 自信」「Courage 勇気」「Constancy 継続」という言葉を紹介し、何事にもチャレンジし、大きく成長した自分の姿を想像して学校生活を送るよう励ました。

久しぶりに生徒の校歌を歌う声が響く入学式となった。

## 新入生校内研修

4月7日（金）から新入生校内研修が行われた。

フリップを使ってクラスメイトの前で自己紹介をしたり、校内のさまざまな施設を回るキャンパスツアーをしたり、あるいはクラス役員を決めたりと、学年・クラス作りの内容を行った。研修後半からは徐々に授業に入った。

新入生たちは、これからの6年間を過ごす仲間たちと積極的にコミュニケーションをとり、新たな学校生活の第一歩をしっかりと踏み出した。



## 退任教職員

\* 榊原 茂明 教諭（国語） 【高等学校→中等教育学校】  
 一ノ瀬 藤明 教諭（社会） 田中 博 教諭（音楽）  
 大久保 あゆみ 教諭（英語） 遊佐 幸司 教諭（社会）  
 齋藤 亮介 教諭（理科） 稲村 匡時 教諭（保健体育）  
 岡安 徹雄 教諭（音楽） 金子 美里 教諭（英語）

\*印の教職員は引き続き勤務します。

## 佐野日本大学学園異動

## 中等教育学校のおもな分掌

校 長	船渡川重幸
教 頭	大島 宏之
副 教 頭	菊地 秀明
主 事	柏倉 豊・中井 啓之 田中 博
高校・中等事務長	細田 晃良



## 中等教育学校 担任一覧 \*学年主任

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
1 組	今泉 詠吉*	神山有紀子*	八下田久美子*	松岡 洋平*	山内 貴光*	丹野 隆史*
2 組	中崎 英寿	大橋 優生	平川 竣一	廣井 雅典	山中 健	島田真理子



1年  
足利学校・グリコピアース

2年  
東武動物公園・さいたま造幣博物館

4年  
警視庁・アーティゾン美術館

5年  
ディズニーシー

3年  
国会議事堂・東京スカイツリー

6年  
ディズニーランド

テレビの  
取材を  
受けました!

## PTA 定期総会開催 役員改選行われる

5月25日(木)、PTA 定期総会が開催された。当日は、授業参観や学級懇談会も行われ、担任は学年および学級運営についての説明などを行った。

### 【本部役員】

- PTA 会長 横井 帝之 (佐野・足利)  
 副会長 本庄 広大 (佐野・足利)  
 印出 和幸 (茨 城)  
 石川 優子 (栃 木)  
 松本 恵美 (埼 玉)  
 穂積 昌信 (群 馬)  
 理 事 小倉 重人 (佐野・足利)  
 南川 千里 (群 馬)  
 小平 修三 (栃 木)  
 監 事 宮崎 忠利 (栃 木)  
 松田 紫乃 (埼 玉)  
 会 計 片柳 容子 (群 馬)  
 横田 誠 (佐野・足利)

### 【学年部役員】

- 6 学年部長 會田 哲治 (栃 木)  
 副部長 増田 英治 (佐野・足利)  
 久保田宏宗 (埼 玉)  
 5 学年部長 稲葉 麻貴 (佐野・足利)  
 副部長 小島 利之 (埼 玉)  
 小泉 仁史 (佐野・足利)  
 4 学年部長 横田 誠 (佐野・足利)  
 副部長 神山 昌久 (佐野・足利)  
 岡田 裕美 (佐野・足利)  
 3 学年部長 渡邊 泰伸 (佐野・足利)  
 副部長 岩下 信吾 (佐野・足利)  
 長谷川信夫 (佐野・足利)

- 2 学年部長 今吉真由美 (栃 木)  
 副部長 堀田 礼子 (茨 城)  
 佐野 可子 (佐野・足利)  
 1 学年部長 寺内 奨 (佐野・足利)  
 副部長 平野 貴之 (栃 木)  
 福地 麻岐 (群 馬)

### 【支部長】

- 佐野・足利 亀田由美子  
 栃 木 小平 修三  
 群 馬 横田真貴子  
 茨 城 石嶋 明子  
 埼 玉 矢内 和代  
 ※敬称略



生徒発表会の吹奏楽部とチアリーディング部

# 令和4年度 修了式各賞受賞者

## 日本大学奨励賞



齊藤 綾香  
(栃木・栃木第四小)

## セカンドステージ最優秀賞



廣瀬 乃々佳  
(4年・足利・毛野南小)

## セカンドステージ優秀賞



亀田 紫乃  
(4年・佐野・田沼小)

## 佐野市長賞



神山 美優  
(佐野・犬伏東小)

## ファーストステージ最優秀賞



嶋村 美月  
(2年・行田・太田西小)

## ファーストステージ優秀賞



西村 香風  
(2年・久喜・東鷲宮小)

## 三か年皆勤賞

稲葉 諒 (佐野・赤見小)  
岩田昊司朗 (加須・樋道川小)  
林 遥樹 (栃木・岩舟小)  
山家 雅史 (小山・乙女小)  
小池 伶奈 (館林・第一小)  
人見 香音 (佐野・犬伏東小)  
本庄 与冴 (足利・山辺小)  
渡邊 麗奈 (松戸・横須賀小)

## 三か年精勤賞

井川 和也 (江戸川・第三松江小)  
高橋 智哉 (古河・上大野小)  
宮崎 高虎 (栃木・栃木中央小)  
渡邊 剛輝 (作新学院小学部)  
齊藤 綾香  
関野 陽菜 (佐野・葛生小)  
花澤 憂衣 (佐野・旗川小)  
守田 詩音 (野木・新橋小)  
和田 愛音 (佐野・旗川小)  
秋山 暖希 (香港日本人学校大埔校)  
五十嵐優杜 (館林・第六小)  
江田 英弘 (栃木・小野寺小)  
岡田福次郎 (邑楽・長柄小)  
亀田 悠馬 (佐野・佐野小)  
佐藤 駿斗 (太田・綿打小)  
高荒 俊太 (館林・美園小)  
田村 嘉偉 (伊勢崎・宮郷第二小)  
山本 兼資 (五霞・五霞西小)  
片柳 那望 (館林・第二小)  
神山 美優  
曾我 美琴 (久喜・久喜東小)

## 奨励賞

齊藤 綾香  
高橋 美羽 (佐野・氷室小)  
小川 耀毅 (宇都宮・豊郷南小)  
片柳 那望

## 栃木県中学校体育連盟体育運動優良生徒賞

小川 耀毅  
片柳 那望

## 佐野市中学校体育連盟優秀選手賞

高橋 智哉  
横田 周 (佐野・田沼小)

## 佐野市中学校体育連盟運動優良生徒賞

高橋 智哉  
関野 陽菜

## 栃木県合唱連盟賞

横井 美那 (佐野・佐野小)

## 佐野市中学校文化連盟芸能・文化活動優秀生徒賞

齊藤 綾香  
神山 美優

## 部活動特別賞

書道部  
神山 美優

## 部活動功労賞

サッカー一部  
高橋 智哉

## 部活動努力賞

男子バスケットボール部  
井川 和也  
石嶋 啓佑 (結城・結城小)  
亀山 直人 (佐野・犬伏小)  
関口 大葵 (栃木・皆川城東小)  
岡田福次郎  
尾林 匠 (太田・駒形小)  
三神 秀郷 (久喜・砂原小)

軟式野球部  
松田 怜大 (久喜・青毛小)  
横田 周  
藤原 郁士 (館林・第九小)

男子ソフトテニス部  
茂木 政治 (久喜・砂原小)  
亀田 悠馬  
本庄 与冴  
横田倅之介 (館林・第一小)

水泳部  
渡邊 剛輝  
須永 宗真 (足利・御厨小)  
小堀 夏希 (大泉・北小)

美術部  
守田 詩音  
小林 真奈 (古河・下大野小)  
金 那珠 (古河・古河第七小)  
富田 穂香 (羽生・羽生南小)  
穂積 来美 (太田・休泊小)

合唱部  
齊藤 綾香  
人見 香音  
南川 杏佳 (館林・第一小)  
横井 美那

曾我 美琴  
武藤 都朱 (佐野・界小)

和太鼓部  
高橋 美羽  
英語研究部 (SELIC)  
天野 遥 (太田・宝泉東小)  
植木 千尋 (佐野・飛駒小)  
山中 星乃 (伊勢崎・宮郷第二小)  
ディベート部  
江田 英弘  
書道同好会  
加藤 未来 (羽生・三田ヶ谷小)  
鈴木 茜 (佐野・城北小)

## 学校後援会表彰

英検  
金井 映月 (5年・下野・緑小)  
作文  
齊藤 綾香  
西村 香風  
硬式テニス  
片柳 那望  
硬式野球・宇都宮リトルシニア  
小川 耀毅  
書道同好会  
神山 美優  
居上 真実 (5年・佐野・赤見小)

※学校後援会表彰は全学年が対象となります。  
※学年表記は昨年度のもので、  
※学年表記がないものは3年です。

2023年

# 大学合格実績

令和5年3月  
卒業生72名

卒業生は、授業を中心とした学習に、各種セミナーや課外授業などに積極的に参加した。今年度の大学合格状況は国公立大学等へ25名、日本大学へ203名、難関私立大学等へ104名、医歯薬獣医看護学部へ29名となった。

## 医歯薬獣医看護系学部 29名合格!

日本大学・獨協医科大学・埼玉医科大学・東北医科薬科大学  
昭和薬科大学・東京薬科大学・自治医科大学・北里大学等

東北大学・東京外国語大学等 国公立大学・大学校へ **25名合格!**  
日本大学の各学部へ 付属推薦制度 & 一般入試を合わせて **203名合格!**  
早稲田・慶応・上智・東京理科・MARCH等 難関私立大学へ **104名合格!**

(既卒生も含む)

## 輝く仲間たち

### 第34回読書感想画中央コンクール

奨励賞 清水 聖乃

(2年・佐野・あその学園義務教育学校)



### 第41回全国橋花書道展

半紙の部 奨励賞

石原 妃菜

(5年・太田・旭小)



### 第39回成田山全国競書大会

特選・月輪賞

居上 真実

(6年・佐野・赤見小)



## トルコ大地震・NZサイクロン災害募金

2月に発生したトルコでの大地震は多くの人命が犠牲となり、崩落した建造物の映像には衝撃を受けた。また、本校生がNZ ターム留学に訪れていた際に姉妹校を襲ったサイクロンも現地の人々の穏やかな生活を破壊するものとなった。

本校では、生徒会とグローバル活動のボランティア団体のGLOBEによる積極的な声掛けで、27,015円の募金が集まった。

トルコへの募金として日本赤十字社を通じて17,015円を、ニュージーランドの姉妹校へお見舞金として10,000円を送金した。

日常の中には多くの苦しい場面が見られるが、互いに助け合う精神を忘れずに行動できるようにしていきたい。



## より深い学びへ！～総合的な探究の時間～

今年度より総合的な探究の時間が、以下のように変わる。

- 1 SDGs17 テーマ中の8テーマの中から興味のある項目を各自が選び、その興味が共通する異学年のグループ(1～4年生で構成)で探究をする。
- 2 付属校の利点を生かし、各テーマに沿って日本大学各学部と連携し、オンライン等で専門的な指導を受ける。
- 3 5年生からは、4年生までのグループ探究で得た知見を生かし、各自が興味関心に沿って、探究をしていく。
- 4 年度末には発表会を行い、探究の成果を発表する。

※すでに5月8日(月)には日本大学理工学部の五味教授にオンラインにてご指導いただいた。  
※6月の文化祭ではグループごとに研究内容の中間発表をポスター展示する予定である。



## 編集後記

プラザ40に生徒の歌声が響く。何でもないことのように、この数年間叶えられなかったことだ。新型コロナウイルス感染症も少しずつ終息への道を進みはじめ、私たちの生活も日常に戻りつつある。さまざまな学校行事を通して経験を豊かにし、視野を広げて成長していこう。今年度の「高校生直木賞」に本校の生徒も参加した。残念ながら全国大会には参加できなかったが、課題図書に対する思いを言葉にして他者と討論する経験は代えがたいものがあったようだ。本が好きな方、ぜひご参加ください。(長谷川 記)

## 広報わかざくら VOL.63

佐野日本大学中等教育学校 栃木県佐野市石塚町2555  
☎0283-25-0111(代) <https://ss.sano-nichidai.jp/>